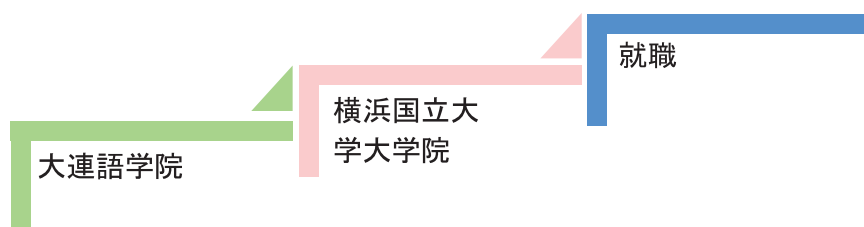


# 外国人にとっての日本就職事情

陳新さん（中国）



なぜ日本で就職するを考えるにあたり、「日本で就職するメリット」「日本で就職するデメリット」をまず洗いだしてみましよう。

日本で就職するメリットは以下が挙げられます。

- ・ 高収入
- ・ 仕事環境が安定している
- ・ 成長性（給料の伸び・能力の開発）
- ・ 日本に長期的駐在の必要要素

一方、日本で就職するデメリットは以下が挙げられます。

- ・ 日本経済の不況
- ・ 勤務時間の長さ
- ・ 年功序列
- ・ 外国人の昇進が困難
- ・ 中国経済が日本経済よりも速く成長している

次に外国人の就職事情について説明します。

2014年、「留学」から「技術」「人文知識・国際業務」をはじめとする就労系の在留資格に変更申請をした人は1万4170人、許可された90%以上の人は1万2958人です。その内中国人は64.4%を占めていました（8347人）。

日本にいる中国人留学生の数は大学・大学院・専門学校などを含み、およそ10万人ですつまり毎年約1割弱の中国人留学生が就職できるという現状で、理想的であると言われています。日中関係が緊密になっている今、中国人を歓迎する態度を持つ会社も増えており、中国人留学生が就職するチャンスは多いと考えられます。

学歴ごとに初任給を見ると、大学院修了であれば初任給は22万円になり、大学学部卒であれば初任給は20万円になり、専門学校であれば17万円で、高校卒は16万円です。

学歴によって初任給も変わります。そのため、より上位の学歴を取得してから就職した方が良いです。

次に、日本で就職するときに必要な能力について説明します。

「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」の四技能全てにおいて、日本語能力を伸ばしましょう。また、日本での就職及び仕事のスタイルに対する理解も求められます。

最後にキャリアパスを計画することの重要性について述べます。以下3つの点が考えられます。

1つ目は、長期的に日本で仕事する場合です。この場合、特に、大手の会社で経験を積むことが求められます。

2つ目は、中長期的に日本で経験を積んで、ゆくゆくは、中国や他の国に行くことを考えている場合です。この場合、外資系企業に就職をし、より早く成長するのが良いでしょう。

3つ目は、短期的に日本で仕事をして、自らが良いと思ったタイミングで中国に戻る場合です。この場合、IT企業で技術を習得して、中国のトレンドに乗ることが重要です。ご自身の場合、どれが良いのかぜひ考えてみてください。